

岩手県職労

月2回刊=1449号
2015年11月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

9月の大雨災害に対するカンパ御礼

県職労は、9月に発生した「茨城・栃木・宮城大雨災害」による被災者支援カンパに取り組み、1607人、69万4989円を集約。県本部を通じて自治労本部に送金いたしました。カンパ金は被災者支援に役立てられることになっていきます。カンパへのご協力を感謝申し上げます。

2015 賃金確定 (給与改定・給与制度) 越年へ

国の動向伺い、12月議会での条例改定を見送る

2月議会での条例提案見据え闘争体制を継続

プラス改定の早期実施、給与制度の総合的見直し阻止に向け、12月議会前最後となる総務部長交渉を行った。給与改定・総合的見直しともに12月議会での提案見送りの回答から、賃金確定闘争をはじめ主要課題は越年し、えで闘争継続となる。



「通勤手当」の自己負担解消など改善を求める小野県職労委員長(左から3人目) プラス改定約束も国が決まらなければ12月議会提案は困難とする風早総務部長(右写真)



6千筆を超える大型ハガキを提出する砂金地公共闘議議長(左)

11・11総務部長交渉結果

県地公共闘との交渉で、当局は本年の給与改定について、県人勧の完全実施を明言しながらも、国人勧の取扱いを巡る閣議決定や国会での給与法改正の見通しが立たないことを理由に12月議会での条例提案を見送る。

通勤手当等の改善について質したところ、中長期的課題として検討を継続するとの回答にとどまったことから、長距離通勤を余儀なくされている職員の実態を考慮し、直ちに自己負担を解消するよう強く求めた。また、同日に行った県職

あると改善を求めた。パワハラ対策については11月5日に示した当局通知では不十分とし、具体的対策を改めて求めた。

超過勤務手当については12月補正で増額するとの回答を受け、各職場の実態を踏まえた配分を求めた。任期付職員から要望のあ

越年闘争に向けた課題と取り組み

公民較差の早期解消は使用者である当局の責任で行うべきであるが、国の動向を伺い、年内でのプラス改定を見送ったことは極めて遺憾である。引き続き早期改定実施を求めていく。また、給与制度の総合的見直し実施を明言したことによ

県職労運動に関する意見交換会

- 第1回目 (ゆうゆうライフプランセミナー第2期終了後)
日時 2015年12月11日(金) 17時30分~20時
場所 「エスポワールいわて」2階レストラン
- 第2回目 (ゆうゆうライフプランセミナー第3期終了後)
日時 2015年12月15日(火) 12時20分~13時30分
場所 「清温荘」

※共済関係のお手続き等についてもご説明いたします。詳しくは、各支部書記局まで!

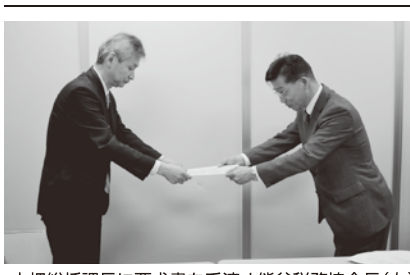
仕事量に見合った人員配置を 主管課長に要求書提出し交渉

税務協

県職労税務職員協議会(熊谷勝文会長)は11月13日、税務課総括課長に対し独自要求書を提出し、交渉を行った。

この取り組みは、税務協発足以降毎年実施してきたものであるが、今回は3年ぶりの実施となった。要求

書の内容は全職場からのアンケートに基づくもので、税務場の生の声を事務所管課の長である税務課総括課長に届け、見解を求めるというもの。



小畑総括課長に要求書を手渡す熊谷税務協会長(右)

う求めてきた。今後もこの取り組みを継続していかねばならない。

第五世代

2015確定闘争は賃金課題を中心に越年となった。重要課題が妥結されないまま年を越すのは、2年前の55歳昇給抑制改悪提案以来だ。特に本年の給与改定・差額支給が年内に行われないことは職員のモチベーションの低下はもとより、出費がかさむ歳末期を控え影響も少なくない。11月18日に永年勤続表彰が行われた。かつては当局から記念品として銀杯が授与されたが、昨今は財政難から記念品も質素となり、寂しい気がする。さらに、永年勤続となる高齢層にはさらに辛い「ご褒美」が当局から送られる。11月11日の総務部長交渉で当局は来年4月に給与制度の総合的見直しを実施すると明言した。長年県政に貢献し、その結果が賃金削減では何とも冷たい仕打ちだ。昨年の12月24日のクリスマスイブは7年ぶりの差額支給が行われた。今年もクリスマスが近づくと黙ってはいられないプレッシャーが届くかわからない。より良い条件は勝ち取らなければ手に入らない。厳しい情勢の中、冬を迎えるが、この難局を乗り切り、春を迎えるためにも組合員の団結で越年となる闘争をたたかいていこう。

2015組織集会

職場課題の学習・交流と心身 リフレッシュで団結深める

11月14・15日、2015
県職労組織集会を盛岡市
「清温荘」で開催、79人が
結集した。

基調講演「労務管理と人



「人事評価制度は差別と分断もたらす・・・」小川研氏が講演(円内)

事評価制度」では労働大学
出版センター代表・小川研
さんから、人事評価制度は
労働強化をもたらすとも
に、相対評価により職員間

闘争の意義について理解を
深めた。
課題別分科会では、50代
分科会、賃金分科会、人員
不足分科会などの6分科会
を開催。個別課題について
参加者一人一人が厳しい生
活・職場実態を発言し、課
題の共有と改善に向けた取
組みを討論した。

の講演を受けた。
人勧闘争をまなぶ歴史セ
ミナーでは、最後のストラ
イキを行った1984人勧
闘争を題材にし、実際に各
支部で闘争の先頭に立った
伊澤昌弘さん、笹田昭市さ
ん、八幡孝幸さんを講師と
してパネルディスカッション
を開催。当時の人勧闘争
の情勢やストライキに臨む
組合員の思い、2014年
5月に終結とした不当処分
撤回闘争について、契機や

また、組合員を取り巻く
職場環境が厳しくなるなか
組合員どうしや家族の触れ
合う機会として、リフレッ
シュイベント(14日オリエ
ンテーリング、15日盛岡手
作り村での体験)や交流会
を開催。集会を通して県職
労運動への一層の結集に向
け、参加者一人ひとりが団
結を固めた。(歴史セ
ミナーや分科会の内容につ
いては、次号以降に掲載予
定)

支部短信

花巻支部

北上支部

「人勧課題」で学習会

花巻支部・遠野分会

花巻支部では10月13日遠
野合庁で人勧課題の学習会
を開催、人事委員会委員長



花巻支部(遠野分会)の「人勧課題」学習会

交渉の結果を踏まえた本年
の賃金改定や給与制度の総
合的見直しなど勧告の課題
について理解を深めた。
特に給与制度の総合的見
直しが勧告される見通しと
なったことに組合員の眼差
しは真剣そのもの。組合員
から賃金削減への不安の声
が挙がるとともに、確定闘
争での導入阻止や要求課題
の実現に向け意識を高めた。

現業職場の改善求め 所属長に申し入れ

北上支部・農大分会

北上支部
農大分会で
は10月16日、
現業職場で
の人員不足
解消を求め、
北上支部長
と連名で現
業職場の改
善を求める
申入書を所
属長に提出
した。過重

労働の実態を現業職員全員
が訴え、人員増を求めた。
所属長から、退職予定者の



「人員増」を求めて所属長と交渉する農大分会

補充を主管課に要求してい
るとの見解を示すも人員拡
充の回答には至らず、改め
て拡充を求めた。今後現業
評が行う各種交渉に結集、
取組みを強化することにし
ている。

「沿岸職場」分科会



「任期付職員」分科会



「家族」分科会



分科会と リフレッシュイベント



「上手に書けるかなあ〜」
お母さんとお父さん、おじいさんのようす



2日目の「リフレッシュイベント」笑顔で仲良く陶器づくり



いのちと暮らしを守る

ただとも

吉田 忠智

社民党党首 参議院議員

退職後が楽しみだ

と思える幸せを実現します

そろそろ退職後が心配になってきていませんか？
アナタには退職後に向けて今から備えられる強い味方がついてます。

在職中は月々1口3000円から掛金を積み立てて退職後の「年金」「医療」「遺族」給付を退職する時に選択

お問い合わせ・お申し込みは組合へ
じちろうの長期共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合